

## 第2学年 生活科学習指導案

場 所 第3学習室

児 童 男17名 女16名 計33名

指導者 和美智教

### 1 単元名

みどりがおか あくしゅ たんけんたい

### 2 児童について

児童は、1年生の頃から生活科が大好きで、自然の中で生き物を探したり、自然の物を使ったり遊んだりすることを楽しんできた。学校探検では、いろいろな部屋や物があり、様々な役割をもった先生がいるから、楽しく勉強できるなど、対象と自分との関わりについても気付くことができた。また、児童は、緑が丘のまちの様子を観察し、朝の会のスピーチで、登下校中に見つけた店や自然について、楽しみながら紹介し合っている。このことから、自分たちの住んでいる緑が丘のまちについての関心は高いと思われる。しかし、その関心は「～があった」という直感的な気付きによるものであり、自分の生活との関わりや店で働く人々について考えている子どもはほとんどいない。

そこで、普段行ったことのある店や会ったことのある人に対しても、詳しく観察したり、直接質問したりするなど、連続・発展的に対象との関わりをもつことができるようにしていく必要があると考える。

### 3 単元の指導構想

#### (1) 単元について

本単元は、新学習指導要領の内容(3)「地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。」を受けて設定した。

緑が丘の学区は、住宅が多くあり、現在も新しい家が建てられている。通学路には、多くの店が並んでおり、病院も学校の近くにある。児童も、登下校中に店を目にしており、何を売っている店があるか分かっている。

本単元では、地域に関わる活動として、緑が丘の店と働いている人を対象に、まち探検を行う。児童が地域の人々と触れ合うことのできるまち探検をすることにより、自分自身との関わりや人と関わることの楽しさに気付くことができると考える。

また児童は、まち探検の見る、聞く、話す、嗅ぐ、触るなどの活動を通して、地域の店や働いている人に対する親しみの気持ちや愛着をさらに深めていくことができると考えられる。また、ルールやマナーを守り、安全に気を付けて見たり、調べたりすることで、人々と適切に接することや、安全に気を付けて生活することができるようになると思う。

#### (2) 指導にあたって

児童の深い学びの姿を次のように捉え、その実現に向けて、以下のような手立てをとる。

##### <育てたい資質・能力>

- ・ 緑が丘の店のよさを探る活動を通して、店や働いている人と特徴やよさ、それらと自分の関わり気付くことができる。 【知・技】
- ・ 緑が丘の店や人と自分との関わりについて考え、伝えることができる。 【思・判・表】
- ・ 緑が丘の店や人に自ら働きかけ、楽しく緑が丘のまちで生活しようとしている。 【学】

##### <深い学びの姿>

- ・ グループごとに緑が丘の店についてまとめたことをつなげて、緑が丘の商店街は「地域(自分たち)のことを考えてくれている店が集まっている」などというように、自分との関わりについて自覚している姿

### 視点1 深い学びを実現する単元構成

- 児童の思いや願いを基に、緑が丘の店や働いている人について調べる活動を行うことで、詳しく観察したり、直接質問したりするなど、連続・発展的に対象との関わりをもつことができるようにしていく。
- 単元末に、「緑が丘の商店街は、どんな商店街か」を話し合うことにより、これまでの活動を振り返りながら、緑が丘の店や人と自分との関わりについて考えることができるようにする。

### 視点2 問題解決的な学習展開の充実

#### (1) 主体的な学びを促す手立て

- ・ 活動中のつぶやきや単位時間の終末の振り返りの発言を取り上げることを通して、その後の活動に対する思いや願いを共有する。その思いや願いを基に課題や場を設定したり、形態を決めたりすることで、見通しや意欲をもちながら活動することができるようにする。(主①)
- ・ 緑が丘の商店街について知るための道筋を、子どもが考え修正する際に支援することにより、子ども自らが課題を解決することができるようにする。(主②)

#### (2) 対話的な学びを促す手立て

- ・ 前時と本時の活動中の個の気付きの見取りをもとに、緑が丘の店についてまとめている児童に対して問い返しを行うことにより、新たに知りたいことをもつことができるようにする。また、価値付けを行うことにより、対象と自分との関わりについての気付きを自覚することができるようにする。〔自分と教師の対話を通じた対象との関わり〕(対①)
- ・ 個の把握をもとに指名したり、気付きを可視化したりすることにより、緑が丘の店や人と自分の関わりについての気付きを広げることができるようにする。〔自分と友達との対話を通じた対象との関わり〕(対②)

## 4 単元の指導計画

### (1) 目標

緑が丘のまちを探検し、店や働いている人について調べ、分かったことを伝えた合う活動を通して、自分たちの生活は地域の様々な店や人との関わりをもっていることに気付くとともに、親しみや愛情をもって人々に接したり、自分の生活を広げようとしたりすることができる。

### (2) 評価規準

知識・技能の基礎	思考・判断・表現の基礎	主体的に学習に取り組む態度
① 緑が丘の店や働いている人のよさに気付いている。	① 緑が丘の店や働いている人のよさについて、工夫してまとめて伝えている。	① 緑が丘の店や働いている人に関心をもち、友達と話し合いながら、見通しをもって調べている。
② 緑が丘の店や働いている人と自分自身や生活との関わりについて気付いている。	② 観察したり質問したりしたことを基に、自分自身や生活との関わりについて自分なりに考え、伝えている。	② 次への思いをもち、親しみをもって人々と接したり、これからの生活に生かそうとしたりしている。

### (3) 指導計画 (全16時間 本時15/16)

段階	時数	○主な学習活動 ・予想される児童の気付きや思い、考え	☆教師の支援 ◇評価規準 (評価方法)
であう	3	「みどりがおかには、どんな店があるの？」 ○ 緑が丘のまちを歩いて、どんな店があったか話し合う。その中で、自分の生活で見つけた物や朝のスピーチで話したことを振り返る。 ・ 果物屋さんがあったよ。どんな果物を売	☆ 「知っていることはないか」問うことで、生活経験や観察したことを結び付けながら、店や人について気付いたことを伝えることができるようにする。(対②) ☆ 緑が丘のまちについて観察したことを基に、「何をしたいのか」話し合うことで、

		<p>っているのかな。</p> <p>○ 生活科の時間に、やってみたいことを出し合い、これからの活動を定める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お店に行って、お店の中にある物を見てみたいし、インタビューをしてみたい。</li> </ul>	<p>子どもの思いを基に、その後の活動を決定することができるようにする。 (主①)</p> <p>◇ 緑が丘の店や働いている人について知りたいという思いをもち、課題を設定している。【態①→発言】</p>
		<p>みどりがおかのしょうてんがいは、どんなしょうてんがいだろう。</p>	
か か わ る	10	<p>「みどりおかのみせはどんなところ？」</p> <p>○ 行ってみたい店ごとにグループを作り、どんな店なのか調べる。</p> <p>○ グループごとに、店の中にあつた物や働いている人がしていたことをまとめながら、もっと知りたいことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんな物がよく売れているのかを聞いてみたい。</li> <li>・ お米屋さんなのに、何で灯油を置いているのかを聞いてみたい。</li> </ul> <p>○ グループごとに、もう一度店に行き、もっと知りたいことを解決する。</p> <p>○ グループごとに、友達に伝えるために、どんな店なのかをまとめる。</p>	<p>☆ 緑が丘のお店を知るための道筋を支援することにより、子どもが自ら課題を解決することができるようにする。 (主②)</p> <p>☆ 店について調べたことをまとめている子どもに対して問い返しを行うことにより、新たに知りたいことをもつことができるようにする。 (対①)</p> <p>◇ 緑が丘の店や働いている人のよさに気付いている。【知①→観察, まとめ】</p> <p>◇ どんな店なのか, 伝えたいことを合わせて工夫してまとめている。【思①→まとめ】</p> <p>◇ 次の活動への思いをもつとともに, 店で働いている人に親しみをもって接している。【態②→観察】</p>
ふ り か え る	3 本 時 2/3	<p>「みどりがおかのしょうてんがいは、どんなところ？」</p> <p>○ 店についてまとめたことを伝え合い、「商店街はどんなところか」を話し合う。(本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のためのことを考えている店があるところだと思う。みんながほしい物を売っているから。</li> <li>・ 地域の人のことを考える人が働いているところだと思う。困っている地域の人を助けているから。</li> </ul> <p>○ 緑が丘の商店街はどんな商店街か、一人一人が絵と文でまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出された考えを基に、具体的に考えることのできる発問をしたり、考えのつながりが分かる板書をしたりすることにより、緑が丘の店や人と、自分の関わりについて気付くことができるようにする。 (対②)</li> </ul> <p>◇ 観察したり質問したりしたことを基に、自分自身や生活との関わりについて自分なりに考え、伝えている。(思②→発言)</p> <p>◇ 緑が丘の店や働いている人と自分自身や生活との関わりについて気付いている。(知②→発言, まとめ)</p>

## 5 本時の指導計画

### (1) 目標


- ・ どんな店かまとめたことを伝え合い、緑が丘の商店街について話し合うことを通して、店や働いている人と自分との関わりについて気付くことができる。【知・技】

### (2) 評価規準

おおむね満足	努力を要する児童への支援
<p>伝え合ったことを基に、緑が丘の商店街は、「地域（自分たち）のことを考えてくれている店が集まっている」などというように、店や働いている人と自分との関わりについて自覚している。</p>	<p>自分が調べたことを思い出すように促したり、考えと伝え合ったこととのつながりが分かるように板書したりする。</p>

(3) 展開

(主) 主体的な学びを促す手立て・(対) 対話的な学びを促す手立て

階	予想される学習活動と子どもの考え	教師の支援 (◇評価)	資料等
<p>であう</p> <p>(5分)</p>	<p>1 前時の振り返りで出された子どもの思いを基に、課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《子どもの思い》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんな店なのかを伝えたいし、他の店についても知りたい。</li> <li>・ 緑が丘の商店街は、どんな商店街なのか早く話し合いたい。 など</li> </ul> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>みどりがおかのしょうてんがいは、どんなしょうてんがいなのだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時のつぶやきや振り返りを取り上げることで、思いを共有し、課題を設定する。そのことで、見通しをもって活動ができるようにする。 (主)</li> <li>・ 児童の思いや願いを基に作成した「まちたんけんの歌」を歌うことで、意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思いの掲示</li> <li>・ まちたんけんの歌の歌詞</li> </ul>
<p>かかわる</p> <p>(20分)</p>	<p>2 本時の活動の手順を確かめる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ポスターセッション形式でグループごとに、考えてまとめた「どんな店なのか」を伝える。</li> <li>② 聞いた人は、質問をする。</li> <li>③ 緑が丘の商店街は、どんな商店街なのかを話し合う。</li> </ol> <p>3 ポスターセッション形式で、調べた店はどんな店かを伝える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p>村上米穀店は、地域のためのお店だよ。重い物を運ぶのが大変な地域の人のために、お米や灯油を運んでいるよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p>サンパッションは、地域のことを大事にしている店だよ。店長さんが、地域を元気にするために店を始めたんだよ。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順を表示しながら確かめることにより、見通しをもって活動することができるようにする。</li> <li>・ ポスターセッション形式で伝え合うことにより、一人一人が思いを伝えたり、質問したりすることができるようにする。</li> <li>・ 「なぜ」と問うことにより、理由についても伝えることができるようにすると共に、人とのつながりについても気付くことができるようにする。</li> <li>・ 「お店や働いている人についてどう思ったか」を問うことにより、事実だけでなく感じたことを伝えることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順カード</li> <li>・ 各グループのまとめ</li> </ul>
<p>ふりかえる</p> <p>(20分)</p>	<p>4 これまでの活動を振り返りながら、緑が丘の商店街について話し合ってまとめる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p>緑が丘の商店街は、地域のことを考えてくれる店が集まっているところだと思う。地域の人がほしい物を買っているから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p>緑が丘の商店街は、地域のために働く人がいるところだと思う。地域の人に灯油を届けたり、地域の家を雪かきをしたりしている人がいるから。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出された考えを基に、「例えば?」「なぜ?」など、具体的に考えることのできる発問をしたり、考えのつながりが分かる板書をしたりすることにより、緑が丘の店や人と、自分たち(地域)の関わりについて気付くことができるようにする。 (対)</li> </ul> <p>◇ 緑が丘の商店街はどんなところなのか、対象と自分との関わりについて気付いている。</p> <p style="text-align: center;">【知 発言・カード】</p>	

